

# 水郷延岡発祥「橋の日」

8月4日

清掃や慰靈・平和法要など

橋への感謝を示す延岡発祥の水辺イベント「第37回延岡橋の日」(野中玄雄代表)は4日、同市の大瀬川に架かる安賀多橋とその周辺河川敷で行われる。昨年同様、新型コロナウイルス感染防止を徹底し、清掃や慰靈・平和法要、合唱、ウォーキングなどが予定されている。同実行委員会(塙月隆久委員長)主催。

テーマは「守ろう! 水の河川敷、堤防などを清掃。その後、参加者全員でラジオ体操をする。」

当日は午前5時50分から、橋の歩道や欄干、周辺式典は午6時30分から。慰靈と平和の祈り、延岡少年少女合唱団による合唱、宮崎競翔連合会による放鳩(ほうきゅう)橋上でのウオーキングと水辺ウォッチングを行い、同7時30分解散する。

その後、参加者全員でラジオ体操をする。野中代表は「水辺から環境を見詰め、その保全を目標とする活動。水郷延岡の豊かな自然に心を注ぐこの機会が、SDGs(持続可能な開発目標)推進にもつながれば」としている。

橋の日イベント実施状況

都道府県名	市町村名	橋名	開始年
1 宮崎県	延岡市	安賀多橋	1986
	延岡市	安多橋	2011
	延岡市	上崎橋	2007
	延岡市	亀井橋・板田橋	2008
	宮崎市	橋	1987
	宮崎市	青島弥生橋	2018
	日之影町	青雲橋	1990
	日之影町	天翔大橋	2004
	日之影町	ふれあい橋	2018
	都城市	市庁舎内	1992
	都城市	北泉橋	2000
	都城市	奥之尾吊橋	2017
	日向市	市庁舎内	1994
	日向市	たいえい橋ほか	1994
	日向市	塩見橋	2015
	門川町	尾末大橋ほか	1994
	日南市	堀川橋	2004
	日南市	夢見橋ほか	2011
	日南市	本町橋・福荷下橋	2012
	日南市	大谷橋ほか	2013
	高千穂町	青葉大橋	2009
	高千穂町	水ヶ崎大橋	2009
	高千穂町	神都高千穂大橋	2017
	西米良村	かりこぼうず大橋	2016
	西米良村	所橋	2018
	美郷町	下橋	2018
	美郷町	出島大橋	2020
	串間市	福島橋	2020
	国富町	本庄橋	2020
	都農町	開運橋	2021
	三股町	桜山橋	2021
	綾町	元宮橋	2021
2 奈良県	十津川村	谷瀬の吊り橋	1992
	十津川村	澤渡橋	2021
3 福岡県	福岡市	名島橋	1994
	北九州市	吉眼鏡橋	2013
	北九州市	門橋	2013
	大川市	川昇開橋	2021
4 佐賀県	唐津市	舞鶴橋ほか	1995
	唐津市	耶馬溪橋	2022
	唐津市	宇根高架橋	2016



安賀多橋の命の橋碑に献花する参加者(2021年の第35回延岡橋の日から)



大瀬川河川敷の雑草を集め参加者(2021年の第36回延岡橋の日から)



2015年当時を振り返る湯浅さん

## 多くの縁に感謝

提唱者の湯浅さん(延岡市出身)

「橋の日」提唱者の湯浅利彦さんは、4日を前にこれまでに得られた多くの人たちとの縁を再確認でき、改めて感謝の気持ちでいっぱい」と全國各地の仲間への思いを語った。

利彦さんは、4日を前にこれまでに得られた多くの人たちとの縁を再確認でき、「最近は過去を振り返る

## 肩肘張らずが長続きの秘訣

滋賀県職員から同県大津市の瀬田川に架かる瀬田の唐橋が橋の日活動に参加するとの連絡があったという。全国47都道府県での実施が確定となったこの日は偶然にも30回の節目を迎える延岡橋の日の準備



3年生が活動してきました。

このうちの名勝に指定される「耶馬溪橋」は新たに大

工事で復旧され、

この橋の歴史と

歴史を学ぶ

機会をもつて、

この橋の歴史を

歌の日

(川・橋・そして人)

作詞 湯浅利彦

延岡市山さん(80)への感謝と

橋

1985年

## TOWN

## ⑧ 2泊3日で沢登りなど楽しむ

延岡

## 県北の小中学生が自然体験

県むかばき青少年自然の家(宮田靖所長)は7月16~18日の2泊3日で、県北の子どもたちを対象にした自然体験事業「むかばきひとり旅Ⅰ」を実施した。

親元を離れ、生活のあらゆることを自分自身であることにより、子どもたちの自立(自律)心を高めることができた。

ねらい。小学4年生から中学3年生までの41人が参加した。初日はメンバーの名前を覚えるためのレクリエーション、同施設の広い敷地を生かした

野外炊飯や天体観測を実施。2日目は恒例の沢登りを行った。

参加者はヘルメットとライフケットに身を包み、水の流れにも負けず行膝山の険しい岩場をぐいぐいと登つて行つた。沢ではマスクも行われ、捕まえたマスクは塩焼きにして食べた。

最終日は手紙を2通執筆した。一通は両親など大切な人への手紙、もう一通は未来の自分への手紙として書

いた。大切な人への手紙は既に郵送されており、自分自身への手紙は、来年3月ごろ自宅へ届くという。

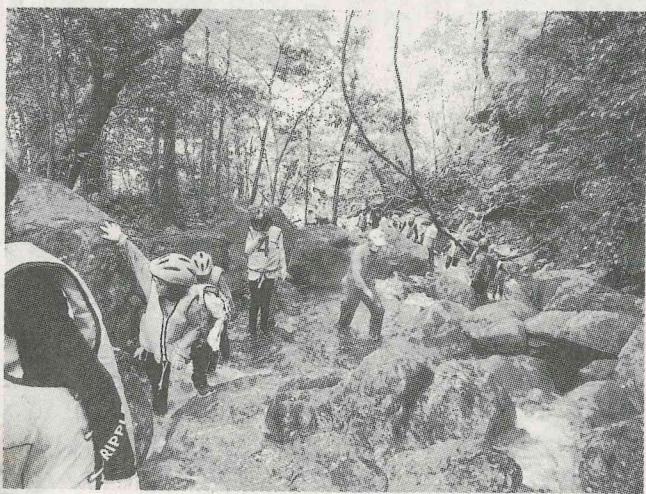
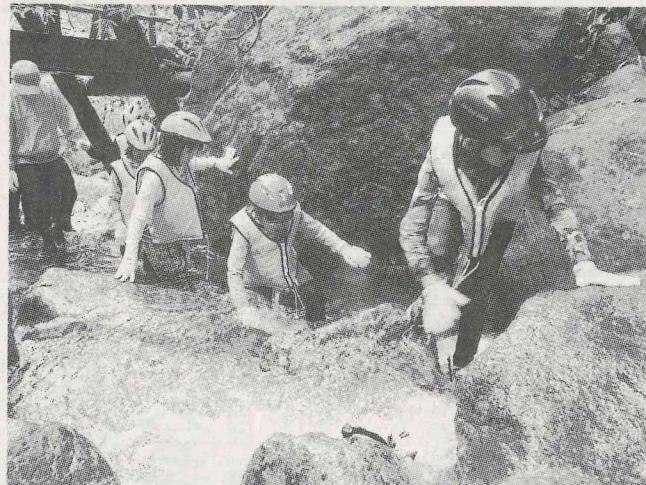
同自然の家職員の寒川健太朗さん(23)は

「行膝の自然を存分に

生かした活動で、子どもたちにとって、掛け

替えのない思い出になつたと思う。特に最

終日に書いた自分自身への手紙は、次の学年に進む前に届くので、思い出を振り返り、次年度への活力にしてもらいたい」と話した。



「むかばきひとり旅Ⅰ」2回目。沢をぐいぐいと登つて行く子ども(提供写真)